



県議会報告

「発言には責任を・心電図伝送導入に前向き・家畜輸送船体制継続」

沖縄県議会議員

砂川 利勝

今議会で一般質問した内容は次の通りであります。

①知事の政治姿勢について②石垣島製糖工場建て替えについて③石垣島北部の平久保及び平野地区への港の整備について④旧空港跡地の県有地利活用計画について⑤旧石垣空港跡地の不発弾問題について⑥新石垣空港の施設改善について⑦離島児童生徒支援センターにおける寮費納入金融機関について⑧県内、特に八重山地域における労働力不足について⑨尖閣諸島問題について⑩先島地区の家畜輸送体制について⑪高病原性鳥インフルエンザ対策について⑫県立八重山病院について

知事の政治姿勢については翁長知事の「辺野古以外は（自民党と）同じだ」との発言の真意を質した。

翁長知事は「21世紀ビジョンを推進しており政策的には同じ方向性ということだ」と答弁した。

これには矛盾点を指摘。「辺野古以外は自民党の政策と同じであるとの認識であれば、高江ヘリパット建設を容認したと受け止められる。政治家は発言に責任を持つべきだ」として、発言にくぎを刺した。

石垣島製糖工場建て替えについては「工場建設から五十四年が経過しており、基幹産業であるサトウキビ生産振興を図るためにも早急な建て替えが求められている」として、県の対応を求めた。

県当局は「建て替えのためには多額の建設費が予想され、関係機関と連携して何が課題なのか整理して対応したい」と答弁した。

石垣島北部の平久保及び平野地区への港の整備については「地域活性化に向けて北部地区の道路整備と合わせてお隣の多良間島を結ぶ新たな海路と港の建設を推進すべき」と県の考えを質した。

県当局は「必要性など地域からの具体的な要望がない中で今後の検討課題としたい」と述べるに止めた。

旧空港跡地の県有地利活用計画について、県独自の利用計画の有無などについて県の考えを質した。

県当局は「石垣市の跡地利用計画協議会で検討されており、同計画が決定したあと、県有地については有償譲渡を予定している」と答弁。

旧石垣空港跡地の不発弾問題について「これまでの磁気探査でも多数の不発弾が発見されている」として、今後の対応策について取り組みを求めた。

これに県当局は「これまで新八重山病院建設予定地を中心に磁気探査を実施している十七年度までに磁気探査事業を完了する」と説明。

不発弾の処理については「石垣市と自衛隊の調整で実施される」として、今後の磁気探査事業については「跡地利用計画を踏まえて石垣市と協議する」と述べた。

新石垣空港の施設改善については「空港を利用する荷物の搬入業者は搬入口に屋根がないために支障をきたしている」として早急な改善を求めた。

県当局は「そのような話は聞いていない。相談に応じて調整していきたい」と述べるに止めたため、「株主である県はもっと積極的に対応して欲しい」と強く要望した。

離島児童生徒支援センターにおける寮費納入金融機関について「離島の親は郵便局で納入できない。納入できる金融機関に郵便局も含めるべきだ。やる気があればすぐにでも出来る」と早急な改善を求めた。

これに県当局は「利便性向上のため口座振替による納付など改善を図る。新年度から離島の郵便局からも振り込めるようにしたい」として改善に着手する考えを明らかにした。

県内、特に八重山地域における労働力不足について「八重山地域における労働力不足は顕著であり早急な対応策が求められている」として県の対応を求めた。

県当局は「関係機関と連携して取り組みを推進している」と答弁。具体的な対応策を示す事はなかった。

尖閣諸島問題については「中国による領空侵犯や領海侵犯などが相次いでいる中で県は中国に対してしっかりと態度を示すべきだ」と見解を求めた。

翁長知事の米国に対して辺野古基地反対を要請している事と、尖閣領空・領海侵犯を来り返し、県民の安全を脅かす中国に対する対応が大きく違う『ダブルスタンダード』を再び指摘したが、翁長知事は答弁を避けた。

先島地区の家畜輸送体制について「八重山地域から家畜を輸送する船舶が来年の十月に廃船となるが継続した輸送体制が求められる」として対応を求めた。

県当局は「十一月補正予算で家畜輸送体制確保対策事業として1億九千万円余を計上した。今後とも八重山・宮古の家畜輸送体制が安定的に継続されるよう関係機関と連携する」と説明した。

高病原性鳥インフルエンザ対策について「八重山地域でも渡り鳥が確認されている中で早急な鳥インフルエンザ防止対策が求められている」として、県の危機管理対応を求めた。

県当局は「モニタリングなどを通して万全な対策を講じていきたい」と答弁し

た。

県立八重山病院については救急搬送時において救急車に搭載された心電計から搬送する病院へ心電図データを送信する「クラウド型12誘導心電図伝送システム」を八重山病院へ導入すべきと質した。

県当局は「地元自治体からも要望を受けており関係機関と調整し前向きに検討したい」と導入に積極的な姿勢を示した。翁長知事は「離島医療は問題を抱えており、ITを利用して医療に貢献できる」と期待を寄せた。

今後とも離島住民の切実な声を県当局に訴え、予算に反映させ、離島振興策を推進させていきたいと強く願い、ここに議会報告とさせていただきます。